

競技注意事項

1. 2017年 日本陸上競技連盟の規則・競技注意事項に準じて行う。
小学生のスタートは日本語で行う。
2. 招集について
すべて現地招集
 - (1) 招集時間 招集時間 完了
トラック競技 30分前 10分前
フィールド競技 40分前 30分前
 - (2) 招集は必ず本人が行い、代理による招集は認めない。遅れた者は出場を認めない。但し、同時に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ競技者係(招集)に申し出ること。
 - (3) リレー種目のオーダー用紙を招集完了1時間前までに提出し、その上所定の時間に招集を受けること。(用紙は受付で受け取り、本部に提出)
 - (4) リレー種目は4人のユニフォームを揃えること。
 - (5) 電子機器類の競技場への持ち込みを禁止する。(携帯電話、音源)
3. トラック種目とフィールド種目を兼ねる者は、トラック種目を優先する。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。
4. トラック種目は予選を行い、タイムレースで決勝進出8名を決定する。
なお、800m以上の長距離はタイムレースとし、上位タイムで順位を決定する。
800mはレーン番号記載のレーンに入ること。
一般高校女子3000mは中学男子3000mの2組目と同時スタートとする。
フィールド競技(走高跳・棒高跳を除く)は3回の試技で順位を決定する。
5. 3000mにおいて、競技運営上支障が出た場合、競技を途中で中止させることがあるので、選手は審判員の指示に従うこと。
6. 表彰は小学生リレーのみ行うので8位入賞チームは表彰控席へ集合のこと。
その他の種目は行わないので入賞者は、本部席まで賞状を取りにくること。
(1位にはメダル・一般高校は3位まで、その他は8位まで賞状を授与する)
7. 競技会での傷害については、応急処置のみで、以後の責任はもたない。
8. 競技場・更衣室・観覧席ともにゴミは各自が責任を持って持ち帰り、競技場内には一切残さないこと。
9. 持ち物は、各自の責任で管理すること。
10. スパイクのピンは全天候性走路専用ピンで9mm以下のものを使用のこと。招集時にチェックする。
11. 投てき練習は、競技場内で実施するので、補助競技場・競技場周辺での練習を厳禁する。
12. バーの上げ方(天候により変更あり)
〈走高跳〉中学・高校・一般
男 1.35 (練習) 1.40 1.45 1.50 1.55 (5cmきざみ)
女 1.15 (練習) 1.20 1.25 1.30 1.35 1.38 (3cmきざみ)
〈棒高跳〉中学・高校・一般 (女子についてはその場で決定)
2.10 3.20(練習) 2.20 2.30 2.40 2.50 2.60 (10cmきざみ)
13. フィールド競技計測ライン
原則、全員1回目は計測するが、その後は計測ラインを超えた者のみ計測する。

| | 男子 | 女子 |
|-------|-------|-------|
| 一高走幅跳 | 5m50 | |
| 中学走幅跳 | 5m30 | 4m30 |
| 中学三段跳 | 11m00 | |
| 中学砲丸投 | 8m00 | 8m00 |
| 中学円盤投 | 21m00 | 18m00 |
| 一高やり投 | 33m00 | |

走幅跳・三段跳のピットは、トラック側よりAピット、Bピットとする。
スパイクのピンは全天候性走路のため9mm以下のものを使用のこと。

14. 旧補助競技場については、次のことを厳守する。
 - ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
 - 内側の1. 2レーンは、長距離のペース走専用とする。
 - 内側の3～6レーンは、流し等の専用とする。
 - 外側の7. 8レーンは、ハードル専用とする。
 - 跳躍種目の練習は所定のピットで行う。
 - 投てき種目の練習は禁止する。
 - 走路及びピットに立ち止まっの指導等をしてはいけない。
 - 走路は左回りとし、逆走は禁止する。
 - その他、審判員の指示に従う。
15. 雨天練習場は工事の為、使用禁止とする

開始式次第

1. 開 式 通 告

2. 挨 拶 松阪陸上競技協会

3. 審 判 長 注 意

4. 閉 式 通 告